

保育のヒント～「科学する心」を育てる～

園内研修の工夫～「科学する心」～／社会福祉法人立野みどり福祉会 立野みどり保育園（東京都）

園内研修や園内研究で、「科学する心」の捉え方について意見交換したり、互いの考えを共有したりする機会はありますか？ 今回は、様々な職種の職員が園内研修に参加し、工夫して実践している園の事例をご紹介します。「科学する心」を共有するための方法として、子どもの姿を写真に撮り記録とし、撮影者と職員全員が「心動かされた場面」へのコメントを寄せ合うことで、「科学する心」についての考え方を共有することに繋がっています。



● 心動かされた場면을共有しよう／0～5歳児

本園では、これまで、子どもたちの「科学する心」については、「生活や遊びの中で、自ら感じて気付く心」と捉えてきた。しかし、保育者によってはこの心を感じとることが難しいのではないかと考えた。そこで、保育者一人ひとりが、「どのような子どもの姿に心を動かされているのか？」を出し合い、共有することで「科学する心」の捉え方を共通理解しようと考え、園内研修とした。

✦ 方法：「心動かされた場面」の写真を基に考え合う

- 保育者一人ひとりが日常の中で“心を動かされた場面”を撮影し、どのように心が動いたかの一言を添え、それに対し他の保育者たちが一言ずつコメントをしてみた。対象は常勤保育士、非常勤保育士、さらに給食職員、看護師、事務員とし、様々な視点から子どもたちを捉えることとした。（主題の共通理解や幼児理解、保育の工夫などに繋がるような場面を考慮して撮影）



✦ 結果：どのような姿を捉えたか？

- 子どもが何かに集中している姿、子どもが葛藤している姿、子どもたちや職員が共感している場面、撮影者が子どもに思いをはせた場面が「写真」として集まった。
- それに対するコメントは、子どもの姿や気持ちに共感しているものが9割、撮影者に共感しているものが1割だった。

✦ 取り組みに対する職員の感想

- 「いろいろな先生の、いろいろな感じ方があることに気付けた」「写真を撮るタイミングを意識することにより、子どもの姿をよく見るようになった」とあった。

✦ 取り組みを通して

- 職種を越えてどの保育者の「科学する心」の感じ方も共感し合えるものであり、子どもへの思いやまなざしは同じだった。また、写真に載っている子どもやクラスに対して、普段から密接に接している保育者の方がより強いイメージをもちながら共感していることがコメントからうかがえた。このことから保育者の感じとり方よりも、働きかけ方が子どもの、「科学する心」の育ちに影響するのではないかと考えた。
- 子どもの「科学する心」を引き続き「生活や遊びの中で自ら感じて気付く心」と捉えることを共有した。さらに、事例を記録する際には、子どもの姿とともに、その心に寄り添おうとする保育者の働きかけも一緒に考えていくことを再確認した。



無断転載を禁ず。引用する場合は右記を必ず明記願います。「(C)公益財団法人 ソニー教育財団 ソニー幼児教育支援プログラム 幼児教育保育実践サイト <http://www.sony-ef.or.jp/sef/preschool/>」